

# 平成29年度事業計画書

(自 平成29年4月1日～至 平成30年3月31日)

公益財団法人双葉電子記念財団

# 平成29年度事業計画書

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月 31日

## I. 基本方針

我が国の経済活動は、昨年からの米国をはじめ特に日本周辺諸国の政治的変動に対する緊張の高まりの中、今後も円安基調が続くとは言えない状況にある。国内は依然エネルギー対策、東日本大震災からの復興対策、今後発生すると思われる自然災害へのリスク対策、日本を取り囲むアジア諸国との国際的な政治・経済摩擦の厳しさが日本経済へ及ぼす影響は、ますます予断を許さない状況である。

当財団は、平成24年8月1日、全国展開できる公益財団法人に生まれ変わり、昨年度は財団設立30周年を迎え、30周年記念助成や、30周年記念式典が執り行われ、多くの財団関係者とともにその喜びを共有し、今後の活動への期待が寄せられました。

本年度は、引き続いて設立趣旨に基づき自然科学・技術の研究者や学生への助成、青少年の創造性開発育成活動への助成、昨年度から新たにスタートした顕彰事業を行うことにより、更に一層自然科学・技術の教育や研究の促進および産業振興の奨励に努める。

平成29年度は以下の諸事業を推進することとする。

## II. 事業内容

### 1. 自然科学研究助成事業

日本全国の試験研究機関、大学等が応募できることとし、昨年と同様主要な理系大学にも広報を行い、財団ホームページを通じ、我が国の産業基盤に関係する独創的かつ萌芽的な研究テーマの中から、当財団の設立趣旨に沿って選定し、助成を行う。本年度は、より社会貢献を強く主眼におき、異分野や複数の研究室、研究機関同士の自由な発想の組み合わせや連携により、新しい共創的価値を生み出す独創的な共同研究プロジェクトへの支援も行う。

事務局としては、これまで不十分であった助成決定後の活動として、過去に助成を受けた研究施設等を訪問し、財団助成金による研究内容・設備等の確認や情報交換等を併せて行う予定である。

なお、平成29年度に助成金を受けられる研究者の方々には、当財団のホームページ上で紹介すると共に、平成30年7月6日（金）開催予定の成果発表会において其の研究の一端をご発表いただき、かつ研究成果を年報に掲載することにより、

広く周知を図ることとする。

また、本年度も以下の通り研究助成金の交付及び贈呈式並びに成果発表会等を行う。

<平成29年度自然科学研究助成金額>

B区分（基礎研究）

B-1 最大200万円以下/件、28件

B-2 最大200万円を超え300万円以下、7件

D区分（応用開発研究）

最大1,000万円以下/件、3件

B、D区分とも、継続申請は3年まで認めるが、自動継続ではなく単年度ごとの審査・評価を行う。

また、特にB区分においては、当財団の設立趣旨に沿った、独創性に優れた研究、地域の特徴を生かした研究、特に若手研究者の研究室や新分野の立ち上げ及び挑戦的研究などへの助成も行う。

実質研究助成金総額約1億円。

<平成29年度研究助成金贈呈式>

平成29年7月14日（金）に平成29年度研究助成金を受けられる研究者の方々に対し、研究助成金贈呈式を開催する。また併せて、平成28年度に助成金を受領された研究者の研究成果の一端を御発表頂く。

なお、研究成果の内容については、当財団の年報および財団ホームページに掲載すること等により周知を図る。

<平成30年度自然科学研究助成事業>

国内の自然科学・技術の研究者を対象に、平成29年9月1日から10月18日までホームページ上で公募を行い、選考委員による書類選考、面接審査により受領者の選考を行う予定。

## 2. 奨学金給付事業

昨年度と同様に、県内外の自然科学系分野を専攻する大学院博士後期課程に在籍する大学院生で、応募に当たり学長又は研究科長・学府長の推薦を受けることができる人を対象に募集を行う。また、前年と同様に海外からの留学生も対象とする。平成29年度の募集に当たっては、従来の応募申請実績のある大学には広報を行うと共に、当財団ホームページを通じ募集を行う。

<平成29年度対象者> 月額10万円（年間120万円） 7名

<平成30年度奨学金給付事業>

国内の大学院博士後期課程に在籍する大学院生（30年度の進学・進級予定者を含む）を対象に、平成29年7月15日から8月31日まで、ホームページ上

で公募を行い、選考委員による書類選考、面接審査により受領者の選考を行う予定。毎年の継続審査により、最長卒業終年まで（原則として最大3年間、但し薬学は4年）給付可能。新規申請者は一次選考（書類選考）と二次選考（面接審査）を行う。継続申請者は、選考委員会による面接審査を行う。

### 3. 青少年創造性開発育成事業

次世代を担う青少年に、自然科学・技術や産業の重要性を意識づけ、独自の創造性を育む、あるいは「自分で考える力を養う」などの先導的な日本国内で実施される教育的試みを、ホームページを通じて広く公募し、当財団の設立趣旨に則って選考し、助成を行うと共に、その趣旨を広く広報する活動を行う。

「茂原少年少女発明クラブ」活動事業等の支援、第15回高校生科学技術チャレンジ（JSEC2017）、県内の高等学校工業教育研究会（略称：千工研）や工業高等学校が行うロボット技術を競う大会への支援、茂原市教育委員会生涯学習課が主体で実施する「自然科学実験イベント」等の自然科学・技術教育活動を引き続いて支援する。また、千葉大学主催の「高校生理学研究発表会」への支援を行う。また、千葉大学大学院生を対象に、ベンチャービジネスに繋がるアイデアコンテストである「なのはなコンペ（学生版）」への支援を行う。

<平成29年度助成総額枠> 約1,500万円

<平成29年度青少年創造性開発育成事業>

公募は平成29年1月6日から2月28日に行われた。

### 4. 顕彰事業の創設

当財団の設立趣旨をより広く社会に広報するため、設立趣旨に沿った研究・産業・教育活動での業績を讃えてより励みとする顕彰事業を実施する。平成29年度成果発表会（平成29年7月14日（金））において、平成29年度受賞者を発表する。

本顕彰事業は、平成27年10月に変更認定があり、昨年より実施され、平成29年度の顕彰事業候補者は、平成28年10月1日から11月30日まで、ホームページ上で一般公募し、推薦（自薦も含む）を受けた候補者の中から、役員、選考委員から構成された顕彰事業選考委員会が組織され、選考、決定が行われた。受賞者は、当財団のホームページ上で紹介すると共に平成29年7月14日（金）開催予定の平成29年度授賞式において表彰及び特別講演を行う。

<平成29年度顕彰表彰副賞> 100万円/件、1件。

<平成30年度顕彰事業>

公募は平成29年10月1日から11月30日

受賞者には、賞状と副賞100万円を贈呈します（年2件以内）。

## 5. 財団事務局内の整備

平成29年1月に改訂されたホームページの改訂の整備を行う。本年度は、研究助成受領者の訪問、顕彰事業の知名度を上げ、青少年創造性開発育成事業支援活動へ積極的な訪問調査を行う。公益財団法人の交流を通して他の公益財団法人とも親交を密にして情報収集を図ると共に、公益財団法人としての行政庁提出関係の書類の作成及び整備を行う。また、平成28年1月より利用が始まったマイナンバー制度への対応を行う。今後は更に当財団活動の広報に努め、引き続いてこれまでの当財団資料の整理、並びに過去の助成成果のデータベース化を進める。また事務処理の効率化・簡素化を行うと共に、当財団のPR並びに当財団の存在価値を高めるための財団活動の模索に努める。

以上

## 正味財産増減計算書（予算）（平成29年度 収支予算書）

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

（単位：円）

科 目	当年度（予算案） H29. 4. 1～H30. 3. 31	前年度（予算） H28. 4. 1～H29. 3. 31	増 減 (当年)-(前年)
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	194,514,848	87,955,901	106,558,947
基本財産受取配当（振替額）	194,460,849	87,901,902	106,558,947
基本財産受取利息（振替額）	53,999	53,999	0
特定資産運用益	88,958	88,958	0
特定資産受取利息（振替額）	88,958	88,958	0
受取寄付金	500,000	0	500,000
受取寄付金（振替額）	500,000	0	500,000
流動資産運用益	241	241	0
受取利息（普通預金）	241	241	0
<b>経常収益計</b>	195,104,047	88,045,100	107,058,947
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>	166,390,217	84,621,835	81,768,382
給料手当	19,316,437	18,103,994	1,212,443
その他人件費（慰労金等）	800,000	800,000	0
福利厚生費	287,200	306,400	△ 19,200
旅費交通費	740,000	500,000	240,000
通信運搬費	484,058	376,320	107,738
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	636,000	633,600	2,400
修繕費	625,190	505,958	119,232
光熱水料費	194,803	223,680	△ 28,877
賃借料	1,728,000	1,728,000	0
支払助成金（研究助成事業）	112,374,594	36,471,730	75,902,864
支払助成金（奨学事業）	10,934,865	14,373,577	△ 3,438,712
支払助成金（青少年創育事業）	17,269,070	10,598,576	6,670,494
支払助成金（顕彰事業費）	1,000,000	0	1,000,000
<b>管理費</b>	10,489,212	9,608,810	880,402
役員報酬費	1,611,097	1,133,322	477,775
給料手当	4,829,109	4,525,998	303,111
その他人件費（慰労金等）	200,000	200,000	0
福利厚生費	71,800	76,600	△ 4,800
会議費	1,347,993	1,428,000	△ 80,007
通信運搬費	121,014	94,080	26,934
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	159,000	158,400	600
修繕費	156,298	126,490	29,808
光熱水料費	48,701	55,920	△ 7,219
賃借料	432,000	432,000	0
雑費	1,512,200	1,378,000	134,200
<b>経常費用計</b>	176,879,429	94,230,645	82,648,784
評価損益等調整前当期経常増減額	18,224,618	△ 6,185,545	24,410,163
<b>当期経常増減額</b>	18,224,618	△ 6,185,545	24,410,163
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
創立30周年記念事業積立取崩金	0	26,200,000	
<b>経常外収益計</b>	0	26,200,000	△ 26,200,000
(2) 経常外費用			
創立30周年記念事業費	0	26,200,000	△ 26,200,000
<b>経常外費用計</b>	0	26,200,000	△ 26,200,000
<b>当期経常外増減額</b>	0	0	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	18,224,618	△ 6,185,545	24,410,163
一般正味財産期首残高	47,735,573	53,921,118	△ 6,185,545
<b>一般正味財産期末残高</b>	65,960,191	47,735,573	18,224,618
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
①基本財産受取配当	0	0	0
基本財産受取配当	286,495,088		
②基本財産受取利息	53,999		
基本財産受取利息	53,999		
③特定資産受取利息	88,958		
特定資産受取利息	88,958		
④受取寄付金	500,000		
受取寄付金	500,000		
⑤一般正味財産への振替額	0		
一般正味財産への振替額	△ 195,103,806	0	△ 195,103,806
<b>当期指定正味財産増減額</b>	92,034,239	△ 26,200,000	
指定正味財産期首残高	404,193,000	430,393,000	△ 26,200,000
<b>指定正味財産期末残高</b>	496,227,239	404,193,000	92,034,239
<b>III 正味財産期末残高</b>	562,187,430	451,928,573	110,258,857

正味財産増減計算書内訳表（予算）（平成29年度 収支予算書）

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計		法人会計	合計
	公1	共通	小計	共通	小計		
<b>I 一般正味財産増減の部</b>							
1. 経常増減の部							
（1）経常収益							
基本財産運用益	165,859,939	0	165,859,939	0	0	28,654,909	194,514,848
基本財産受取配当振替額	165,811,340	0	165,811,340	0	0	28,649,509	194,460,849
基本財産受取利息振替額	48,599	0	48,599	0	0	5,400	53,999
特定資産運用益	80,062	0	80,062	0	0	8,896	88,958
特定資産受取利息振替額	80,062	0	80,062	0	0	8,896	88,958
受取寄付金	450,000	0	450,000	0	0	50,000	500,000
受取寄付金振替額	450,000	0	450,000	0	0	50,000	500,000
流動資産運用収入	216	0	216	0	0	25	241
受取利息（普通預金）	216		216			25	241
<b>経常収益計</b>	<b>166,390,217</b>	<b>0</b>	<b>166,390,217</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>28,713,830</b>	<b>195,104,047</b>
（2）経常費用							
<b>事業費</b>	<b>166,390,217</b>	<b>0</b>	<b>166,390,217</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>166,390,217</b>
給料手当	19,316,437	0	19,316,437	0	0		19,316,437
その他人件費（慰労金等）	800,000	0	800,000	0	0		800,000
福利厚生費	287,200	0	287,200	0	0		287,200
旅費交通費	740,000	0	740,000	0	0		740,000
通信運搬費	484,058	0	484,058	0	0		484,058
消耗品費	636,000	0	636,000	0	0		636,000
修繕費	625,190	0	625,190	0	0		625,190
光熱水料費	194,803	0	194,803	0	0		194,803
賃借料	1,728,000	0	1,728,000	0	0		1,728,000
支払助成金（研究助成事業）	112,374,594	0	112,374,594	0	0		112,374,594
支払助成金（奨学事業）	10,934,865	0	10,934,865	0	0		10,934,865
支払助成金（青少年創育事業）	17,269,070	0	17,269,070	0	0		17,269,070
支払助成金（顕彰事業費）	1,000,000	0	1,000,000	0	0		1,000,000
<b>管理費</b>						10,489,212	10,489,212
役員報酬費						1,611,097	1,611,097
給料手当						4,829,109	4,829,109
その他人件費（慰労金等）						200,000	200,000
福利厚生費						71,800	71,800
会議費						1,347,993	1,347,993
旅費交通費						0	0
通信運搬費						121,014	121,014
消耗品費						159,000	159,000
修繕費						156,298	156,298
光熱水料費						48,701	48,701
賃借料						432,000	432,000
雑費						1,512,200	1,512,200
<b>経常費用計</b>	<b>166,390,217</b>	<b>0</b>	<b>166,390,217</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>10,489,212</b>	<b>176,879,429</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	18,224,618	18,224,618
当期経常増減額	0	0	0	0	0	18,224,618	18,224,618
2. 経常外増減の部							
（1）経常外収益							
創立30周年記念事業積立取崩金							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
（2）経常外費用							
創立30周年記念事業費			0	0	0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	18,224,618	18,224,618
一般正味財産期首残高	41,145,170		41,145,170		0	6,590,403	47,735,573
一般正味財産期末残高	41,145,170	0	41,145,170	0	0	24,815,021	65,960,191
<b>II 指定正味財産増減の部</b>							
①基本財産受取配当							
基本財産受取配当	257,845,579		257,845,579			28,649,509	286,495,088
②基本財産受取利息			0				
基本財産受取利息	48,599		48,599			5,400	53,999
③特定資産受取利息							
特定資産受取利息	80,062		80,062			8,896	88,958
④受取寄付金							
受取寄付金	450,000		450,000			50,000	500,000
⑤一般正味財産への振替額							
一般正味財産への振替額	△ 166,390,001		△ 166,390,001			△ 28,713,805	△ 195,103,806
当期指定正味財産増減額	92,034,239	0	92,034,239	0	0	0	92,034,239
指定正味財産期首残高	363,773,700	0	363,773,700	0	0	40,419,300	404,193,000
指定正味財産期末残高	455,807,939	0	455,807,939	0	0	40,419,300	496,227,239
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>496,953,109</b>	<b>0</b>	<b>496,953,109</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>65,234,321</b>	<b>562,187,430</b>